

## 内原・友部平和の会 秋のつどい 平和を忘れて・・・

### 3名もの仲間が増えた！

「平和という言葉を使わないで楽しみましょう。平和運動がいろいろな世の中をつくるために仲間を増やしましょう」

こんな雰囲気では参加者はキノコ採り、そして川井さんの指導で手作りうどん。ところは旧七会村やまびこの郷。参加者15名。大鍋2つにたっぷりキノコ10種類ちかくの出汁宜しく、これに手打ちうどんを入れて口に頬張る。一同、異口同音におせじ抜きに「こんな美味しいの今までに食べたことない」と最高。



美味しいスープに夢中のみなさん

参加者15名の内、若者5名、7名が非会員。藤枝さんと笹島ご夫妻が快く入会してくれました。

内原・友部平和の会では今年に入ってから事務局

会議の充実化をはかり具体的な取り組みをみんなで話し合い実行しました。3月から2ヶ月に1回、B4裏表のニュース発行。

4月にはふれあいの里で山菜採り・天ぷらで春のつどい。5月は憲法フェスティバルにみんなで参加。6月は総会。7月は仏頂山にハイキングと筑波海軍航空隊フィールド学習会。8月、茨城の戦争展(2週間)。9月に雨引山ハイキング。10月にはキノコ鍋を囲む秋の集いと毎月なにかを



満腹・満足で記念写真

施、この間ニュースで情報交換。このような取り組みのなかで会員でない笹島さん、藤枝さんが何回も参加してくれて平和委員会に入ってくれたのです。内原・友部平和の会はこれから12月に学習会と忘年会、さらに1月には餅つきの集いをやりたいとの声も上がってきている状況です。各平和委員会の仲間とまた全国の仲間と一緒に仲間づくりと地域活動にみんなで励みあって進みたいと思っています。(伊)

## 鹿島9条の会

### 発足と講演のつどい

鹿島9条の会代表 木村 泉

10月19日(日)、鹿嶋市勤労文化会館において、100名ほどの参加で、「鹿島9条の会」の設立総会が行われました。約1年前から準備を重ね、呼びかけ人を募ってきました。8月に呼びかけ人が30人になったところで、「呼びかけ人の会」を開催、その席上で「呼びかけ人世話人会」を発足しました。その後世話人会を中心に取り組みを進め、この日の結成に至りました。

当日は、きたがわ・てつ氏作曲の「私を褒めてください」のBGMで迎えました。開会に先立って、地元シンガーソングライターの男性によるハーモニカ演奏を聞いたり、憲法演歌をみんなで歌いました。その後、世話人会による憲法前文の「群読」を披露しました。会長挨拶の後、事務局長から、経過報告、行動提起を提案し、了承されました。

メインは茨城大学の名誉教授・田村武夫先生の講演「世界情勢と憲法9条の意義」でした。前半は「現在の国際情勢の特徴」「憲法9条への新たな光」として、憲法9条が成立した歴史的背景を学問的に明らかにしました。後半は「憲法9条の意義をなぜ強調するのか?」として憲法9条の今日的意義を確認し、最後に「日本国憲法9条の起源や世界の平和NGOの活動を想起するならば『日本国憲法9条を世界へ』というよりも、『日本国憲法9条は世界の民衆とともにある』と考えるほうが適切ではないだろうか」と結び、日本国内からだけではなく、世界史的な視点から憲法9条の位置づけを明らかにしました。

難しい内容を分かり易く話していただけたため、参加者のほとんどが聞き入りました。また、時間が足りなくなる程、多面的で積極的な質問が出され、田村先生も「質問が多いことは関心

が高いこと。今回は本当にうれしい」という感想を述べていただきました。

閉会の辞にあたり、幼稚園の園長さんが、「園児たちと同じ日本の子どもたちに人を殺させることも、人から殺されることもあってはならない」と結び、大きな共感を呼びました。

## 土浦平和の会ニュース200号おめでとう

### 200号は通過点

### 更なる発展を！

「お前なあ、人に読まれるニュースやチラシが作れるようになったら一人前の活動家だよ」そんな事を先輩から言われたのは4～5年も前の事であった。ひとりでも多くの方に読んでもらうためには、一枚の用紙にその時々事・会の動向・会員の気持ちの反映・運動の見通し等々の考慮し見やすく割り付けする。さらに文章は簡にして要を得えなければならぬ。至難の業である。

今回、土浦平和の会のニュース発行が200回の偉業を遂げた。しかもそれは300号と続くひとつの通過点である。200号と言えば、月1回発行で16年半の長きにおよぶもの。つらい事だけではない。楽しさと作る事の喜びがそこにある。知恵と根気とみんなの協力が凝縮されている。

茨城県平和委員会にとっても大きな財産であり、また他の平和委員会にとっても大きな励みとなっている。今後さらに充実させ土浦の平和運動に貢献して頂けるよう期待しています。井上事務局長以下、会員のみなさんのご努力に深謝しお喜びをもうしあげます。(この記事は土浦のニュースに掲載されたものです)(伊)

## 平和かわら版

No.516  
月3回発行  
2008.11.5

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



## 改めて平和を考える 過去に目を閉ざすものは・・・

土浦平和の会 近藤 照男

大量殺戮、民族抑圧、自由や民主主義の否定、環境破壊、難民・飢餓・貧困の再生産・・・平和の対極にあるのが戦争である。第2次大戦での犠牲者は6千万人ともいわれている。日本で3百万人、中国などアジア諸国で2千万人以上の命が奪われた。今世紀に入ってもアメリカとその同盟国によるイラク、アフガンでの「対テロ戦争」や世界各地での紛争で多くの罪のない人々が犠牲になっている。06年で世界の軍事費総額はおよそ1兆2千億ドル（約46%はアメリカ、日本は世界で5番目）。一方、毎年世界で920万人の子供が飢餓で命を落とし、12億人が1日1ドル以下の生活を強いられているという報告もある。世界の軍事費の10%で世界中の飢餓、貧困、難病に苦しむ人が救われるという。戦争ほど残忍で非生産的なものはない。

日本国憲法前文は、日本は永久に戦争はしない、軍隊を持たない、世界の平和に貢献することをうたっている。これは広島、長崎の原爆や沖縄戦などあの悲惨な戦争体験とアジア諸国への加害者としての反省から生まれたものであり、平和という人類の永久の理念を世界に宣言したものである。ところが近頃、憲法を変え、アメリカの仕掛ける戦争に何時でも、何処にでも自衛隊を参加させようという動きが強まっている。こうした中で自衛隊空幕長なる人物の「侵略国家だというのは濡れ衣だ」とする「論文」が問題になった。あの戦争は蒋介石やコミンテルンの陰謀だったとか、侵略ではなくアジアの国々からは感謝されているなどと歴史の事実を歪曲し、捏造し、荒唐無稽な論を展開している。領土拡張と支配、資源の収奪を目的に他国の領土に入り込み、罪もない人々を殺戮、略奪、国土を破壊した行為は侵略以外の何ものでもなく、日本が加害者であることは紛れもない事実である。

「アジア解放のためだった、南京虐殺はなかった」などと侵略戦争を美化する主張は彼に限ったことではないが、そのような人物が4兆8千億円の防衛予算、25万人近くの自衛隊

員を抱える防衛省の中核にいたことは、驚きであるとともに怖さを感じる。

1985年、ヨーロッパの戦争終結記念日における西ドイツ・ヴァイツゼッカー大統領の記念講演での「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在も盲目になる。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすい」は、歴史の真実に対しては謙虚に向き合うことの大切さを教えている。戦争を起こすのも人間、止めさせられるのもまた人間である。

## 活動の足跡を辿って・・・

さかい平和の会 染谷 卓勇

突然、県平和委員会伊達事務局長より寄稿の依頼があり、何一つ活動をしていないさかい平和の会では一瞬何を書こうか「ドキッ」としましたが筆をとることにしました。まずは、さかい平和の会の生い立ちであります。平成17年9月に自治体で働く仲間組織した団体が発足当時は、全ての人が現役で働く者の集まりでした。その後何人かの方が職場を退職したりして17名の会員で現在に至っています。

平成17・18年と主だった活動もせずに、県平和委員会より送られてくる「平和新聞」と「平和かわら版」を読み、他団体の活動状況に関心している日々でした。このままでは前進しないのではと会員より熱いものがわきあがり、歩みは鈍くとも確かな一歩を合言葉に平成19年6月に会員17名中11名にて、平和を語るには、活動の手始めとして東京の靖国神社を見学しようではないかと一大転機がおこり見学に至りました。見学終了後反省会の席上で多数の会員より、「反戦への思いと平和の尊さを認識した1日を過ごすことが出来た」と感想が寄せられました。そして、9月には、その勢いのまま「平和を願う全市町村宣伝行動」にも29日と10月3日の2日間県西地域（境・五霞・坂東）を一日中くまなく街宣行動を取組むことが出来ました。

さかい平和の会は、前述しましたが弱小集団のため、やっとの思いで今年6月には会員全員で総会を開催することが出来、県平和委員会の運動方針に沿ったかたちで、当面会員の

拡大をしようではないかと承認され、現在奮闘中でありませぬ。これからも少しずつ前進あるのみ、県内の各平和委員会の皆様と共に頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導の程宜しく申し上げます。

## もう冬眠してられない！！

花だいこん 中山弘子

後期高齢者医療制度は高齢者いじめの悪法です。地域では医師不足が深刻で医療の崩壊が進んでいます。救急医療体制が貧困だから患者さんがタライ回しになってしまいます。茨城では筑西市民病院が診療所になります。日立総合病院は4月から産婦人科医がゼロになります。社会保障費の2200億円削減は絶対に許せません。年間5兆円の軍事費と2500億円の思いやり予算を削減して、あつたかくて安全な医療と、安心して老後を迎えられる介護を提供できる国にしたい。私たち医療従事者の願いです。

麻生内閣が発足したと思ったら、新テロ特措法延長案可決の暴挙です。私たち「花だいこん」も、もう冬眠してはられません。

11月13日にDVD「イラク戦場からの告発」を上映し、絵本「戦争のつくりかた」を題材に平和を考える会を開きます。

## 輸入ものとは一味ちがう

### 本場の勝沼ワインで！

「2008ヌーボー」は今年取れた甲州ブドウで醸造したワイン、混ざりつけ無し、安全です。また、勝沼醸造はご当地で一番の老舗、2年前にはブドウ畑や醸造蔵、品質管理などを見学してきました。苦しい県財政の一助のため、宜しく申し上げます。

2008年甲州ヌーボー：白(辛口)と赤の2種類  
お値段は1本・1500円(地元還元1000円)  
締め切りは11月末。配達は12月10日前後。  
昨年並以上にお願ひ出来れば幸いです。

